



富山県

No.68 2013年7月

中央植物園だより



第15回私の植物写真展応募作品「鉄線蓮(2)」 撮影/西村明憲さん

クレマチス

クレマチスは、世界中におよそ250種の野生種があり、500以上の園芸品種が作出されています。イギリスでは「つる植物の女王」といわれるほど親しまれています。近年この時期になると園芸店に行燈仕立てのクレマチスが数多く並ぶようになりました。



中央植物園マスコットキャラクターの名前が決まりました。

富山県ゆかりの植物チョウノスケソウとエッチュウミセバヤをモチーフに作成した富山県中央植物園のマスコットキャラクターの名前が、「ちょうのすけ」(左)と「みせばやちゃん」(右)に決まりました。



BOTANIC GARDENS OF TOYAMA

中央植物園長就任ごあいさつ



富山県中央植物園
園長 中田政司

平成5年10月に開園した中央植物園は今年開園20周年を迎えました。開園当初展示温室は建設中で、屋外展示園の木はまだ小さく、支柱と雑草だけが目立つような有様でしたが、今では立派に木陰が作られ、子供たちがドングリを学習する林になっています。開園前からのスタッフとして

は感慨深いものがありますが、この節目の年に園長に就任することになりました。よく植物園は開園の 때가完成ではなく、50年、100年かけて完成するといわれますが、実際に成人式の年を迎えてやっと一人前になったような気がします。最近ではサクラの季節だけでなく1年を通して若いカップルや写真を趣味とする年配の方、車椅子での来園者をお見かけするようになりました。花と緑は人の心を和ませます。これからも県民に親しまれるように、努力と工夫を重ねていきたいと思っております。

中央植物園開園20周年記念式典レポート

今年開園20周年を迎えた中央植物園では、5月10日に開園20周年記念式典が開催されました。式典に先立ち、この春芝生広場の一部に開設された「富山ゆかりのサクラコーナー」において記念植樹式が開催されました。富山県で近年見つかった4品種(コシノフクカサネ、コシノフユザクラ、ヒメクヅロキクザクラ、ニューゼンオトメキクザクラ)6本が石井隆一富山県知事はじめ10名の来賓の方によって植樹されました。(写真上:植樹を終えて参加者全員で記念撮影)。

植樹式に続いてサンライトホールでは記念式典が行われ、公募していたサクラの新品種名「越の福かさね(コシノフクカサネ)」に採用された佐野臯月さんに知事から記念品が贈呈されました。さらにこの10年の間に中央植物園の活動に貢献された方々5氏3団体に、園長より感謝状が贈呈されました(写真中:中田園長より管開雲氏に感謝状が贈呈)。また、中央植物園のマスコットキャラクターの名前「ちょうのすけ」「みせばやちゃん」が発表されました。

この後、中国科学院昆明植物園元園長の管開雲氏による記念講演会「植物王国—中国雲南省の植物の恵みを旅する」が開催されました(写真下:左側の通訳は昆明植物研究所の魯元学氏)。講演では、雲南省の植物の紹介と富山県中央植物園との共同研究の成果などが紹介されました。



写真で見る植物園の20年 その1

開園20周年を記念して、このコーナーでは20年間の中央植物園の移り変わりを写真で紹介します。



開園当初のボタン・シャクヤク園。水銀灯左側のフウは今では樹高約16mに達し、大きな木陰を作り出している。



平成5年10月1日開園式典テーブルカットの1コマ。後方は現在のツツジ・シャクナゲ園、手前は駐車場。



開園前の山地湿地から東方向を撮影。園路はまだ舗装されていない。後方の大きな樹木は旧緑化センター部分からクリ・コナラの森に移植したケヤキと思われる。



開園式典の後、中沖豊前知事(左)を案内する黒川道初代園長(左から2番目)。左後方の建物は管理研修棟で、染めの植物コーナー付近で撮影。

研究紹介◎『春に発生するきのこたち』

栽培展示課課長補佐 橋屋 誠

春にきのこと言うと多くの方が驚かれますが、春にもいろいろなきのこが発生します。

ヨーロッパや北米では春のピクニックといっしょにマッシュルームハンティングをよく行ないますが、この際目的となるきのこはアミガサタケの仲間が中心で、これはモレルやモリユの名で呼ばれ、美味しい食材として利用されています。

これまで富山県内で見つかっているきのこの中で、春にしか見られないきのこの1種にシロキツネノサカズキモドキがあります。これは残雪が消えた後ケヤキなど広葉樹の埋もれた枯れ枝から発生するもので、その姿は妖精の使う赤いワイングラスのように可憐で、このカップの内側に当たる赤い部分で孢子が作られます。このきのこはこれまで神通川と庄川水系の支流に当たる谷部で見つかっていますが、県西部の氷見や小矢部方面、また東部の滑川や黒部方面ではまだ見つかっていません。

富山県内で見られる春のきのこには生育地が1箇所しか見つかっていない種類もあります。テンガイカブリは立山駅近くの道端でしか見られませんが、トガリフカアミガサタケは射水市にある公園のフェンス際1箇所です記録がありません。これらの発生環境はどこにでもあるありふれたものですが、発生地から少しでも離れるとまったく見つからないのがとても不思議です。

また他府県では見つかっていても富山県内では未発見の種類もあります。シャグマアミガサタケというきのこは、全体が赤茶色で形は脳塊状をしていま

す。比較的大きなきのこであるため、発生すればすぐに見つかると思うのですが、まだ県内では見つかっていません。このきのこは世界的に有名な毒きのこで、この毒成分はロケットや航空機の燃料に似た化学物質です。他には普通種のアミガサタケに似たヒロメノアミガサタケという種があります。違いは頭部に見られる網目の幅が広いことで、全国的にはやや標高の高いブナ林などに発生することが知られています。このため残雪を追って山に入る山菜取りの際に見つからないかと期待していますが、未だ見つかっていません。

このように不思議なことの多い春のきのこですが、植物園友の会きのこ部会の方々と協力しながら富山県のきのこフロア調査を続けたいと考えています。



春に見られるシロキツネノサカズキモドキ

植物園トピックス

①カエンボク19年目で初開花

ノウゼンカズラ科のカエンボク (*Spathodea campanulata* P. Beauv.) は熱帯アフリカ原産で、植物園の熱帯雨林温室が完成した平成6年(1994年)に植えられてから、19年目の今年4月に初めて開花しました。赤やオレンジ色の花が幹の先端に群がって咲く様子が燃え上がる炎のようにみえることからこの和名がつけられました。



②ゾウコンニャクは13年ぶりに開花

サトイモ科のゾウコンニャク (*Amorphophallus paeoniifolius* (Dennst.) Nicolson) は13年ぶりに今年5月下旬に開花しました。ハエなどをおびき寄せて花粉を運んでもらうために、開花中は肉の腐ったような強烈な悪臭を漂わせました。塊茎はえぐ味が強く、叩き潰して焼いたり、長時間煮たりして食用とするそうです。



催し物のご案内

■企画展示 サンライトホール

企画展・特別展には入園料が必要です。

「私の植物写真展」

6月14日(金)～7月17日(水)

夏休み子ども企画「森のクラフト」

7月19日(金)～8月28日(水)

企画展「花粉の造形—電子顕微鏡の世界」

8月2日(金)～21日(水)

特別展「梨を味わう」

8月30日(金)～10月2日(水)

■夜間開園

ゲッカビジン観賞

6月～7月(開花日2日間)

19:00～21:30

夜間入園料/250円

オオオニバス観賞会

8月23日(金)・24日(土)

19:00～21:30

夜間入園料/250円

■講座・講習会

★顕微鏡観察講座① ◆要申込

「顕微鏡の基本と保守の方法」

7月21日(日) 13:30～15:30

★顕微鏡観察講座② ◆要申込

「細胞や表皮の観察」

7月27日(土) 13:30～15:30

★開園20周年記念「くすりの植物コーナー開園式・記念講演会」

7月28日(日) 13:10～15:30

会場：サンライトホール(入園料が必要)

★顕微鏡観察講座③ ◆要申込

「茎断面の観察」

8月4日(日) 13:30～15:30

★講演会「電子顕微鏡でみる植物の世界」

8月10日(土) 13:30～15:30

★顕微鏡観察講座④ ◆要申込

「電子顕微鏡で植物を観察する」

8月11日(日) 13:30～15:30

★開園20周年記念

第21回 TOYAMA 植物フォーラム

「ナシのひみつ」

9月22日(日) 13:00～16:00

会場：サンライトホール(入園料が必要)

■月例行事

緑のコンサート

第1土曜日 14:00～15:00

開催場所/サンライトホール

参加費/入園料が必要

植物ガイド

—ボランティアと歩く植物園—

毎週日曜日 13:30～14:00

集合場所/サンライトホール

参加費/入園料が必要

◆要申込 事前の申込が必要です。申込は1ヶ月前から電話・往復はがき・FAX・メール(botanic@bgty.org)で受け付けます。

★印は植物園ボランティアの養成講座です

富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00～17:00(入園は16:30まで)

(11月～1月は9:00～16:30、入園は16:00まで)

休園日 毎週木曜日

(4月中、GW、お盆、祝日の場合は開園)

年末年始(12月28日～1月4日)

入園料	大人(一般および大学生)	500円
	団体料金(20名以上)	400円
	高校生以下通年無料	
冬季入園料(12月～2月)		
	大人(一般および大学生)	300円
	団体料金(20名以上)	240円
	高校生以下通年無料	
年間パスポート(購入日より1年間有効)		2,000円

交通案内 JR富山駅から、富山地铁バス「ファボーレ」経由萩の島循環または「ファボーレ」経由速星行き(休日のみ)に乗りし「中央植物園口」停留所下車、徒歩約12分/富山市中心部より車で約15分/北陸自動車道富山インターより車で約15分/JR速星駅より車で約8分

富山県中央植物園だより No.68

編集・発行/富山県中央植物園(指定管理者:公益財団法人 花と緑の銀行)
〒939-2713 富山市婦中町上轡田42 TEL076-466-4187 <http://www.bgty.org/>
平成25年6月25日発行 印刷/第一共同印刷株式会社